



きしほいくえんだより



「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」この言葉通り新年が明けて早2月。寒さに負けず元気いっぱい遊ぶ子どもたちの成長を嬉しく思うと同時に、子ども達と過ごす時間はアツと言う間に過ぎて行く寂しさも感じます。一日一日の大切な時間の中で子ども達がどのように成長するかは、私たち大人が責任を持って導かなくてはなりませんね。子ども達の成長を見据え2月3月の締めくくりの時期を過ごしていきたいと思えます。

2・3月の体操教室

2月

3日(月) しか・らいおん・くじら組
17日(月) ひつじ・きりん・ぞう組

3月

2日(月) しか・らいおん・くじら組
9日(月) ひつじ・きりん・ぞう組



お知らせ

園服と用品の販売についてのお知らせを2月17日(月)に配布いたします。必要事項を記入し2月21日(金)までに担任へ提出してください。

園服等の販売は3月18日(水)14時からです。

2.3月の行事予定

2月	4日(火)	観劇
	26日(水)	ECC
	28日(金)	2・3月誕生会
3月	13日(金)	年長児お別れ遠足
	18日(水)	ECC
		園服販売
	28日(土)	第44回卒園式



今月のおすすめの絵本



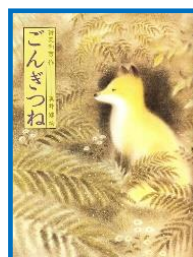
今月の歌「雪のペンキ屋さん」

ゆきのペンキやさんは

おそらから ちらちら

おやねも かきねも ごもんも みんな

まっしろく まっしろく そめにくる



ごんぎつね

作： 荻田 澄子
絵： 植垣 歩子
出版社：学研

いたずら好きのきつね“ごん”は、兵十がせつかくとった魚を川に捨ててしまいます。ところが病気の母親のためにと兵十が魚を取っていたこと、その母親が死んでしまったことを知り、償いに魚や栗を兵十の家にこっそり運んでいました。運んでくる主がごんとは知らない兵十は、いたずらに来たと思いこみ、ごんを火縄銃で撃ってしまうのでした。



子どものすこやかサポート

咳や鼻水を伴う風邪をひいてしまったら、小児科か耳鼻科、どちらに受診しようか迷った事はありませんか？

<小児科に受診した方が良いとき>

咳の場合 … 風邪によることが多いですが、症状が重い場合や長引く場合は、肺炎、喘息などを見逃さないために、まずは小児科受診をお勧めします。

熱の場合 … 水分が摂れない、あまり動かない、尿が少ない、4日以上発熱が続く場合は、小児科受診をお勧めします。



<耳鼻科に受診した方が良いとき>

主症状が鼻水・鼻づまりの場合 … 鼻や咽喉の炎症が原因で中耳炎になることがあります。

鼻や喉元が苦しそう、機嫌が悪いなど、子どもの変化に注意することが大切です。中耳炎の治療を行い、耳痛がなくなっても、必ず治癒確認を受けましょう。



※急性中耳炎をきちんと治さないと滲出性中耳炎になり、聴力が低下し、言語発達に影響することがあるため、きちんと治しましょう。



おきゅうしょく パクパク すくすくのおてつだい

6つのこ食

ご存じですか!?



ライフスタイルの変化とともに様々な「こ食」が見られるようになってきました。脳も体も成長途中の子どもたち。大人より影響をうけやすいです。すぐには難しくてもできる所から無理のない範囲で意識していきたいですね。

個食

家族で同じ料理を食べず、それぞれ好きなものを食べることで、協調性が育ちにくくなります。

濃食

味の濃いものばかり食べること。味や香りなどを感じ取る味覚などが育ちにくくなります。

固食

自分の好きなものばかり食べること。好き嫌いが改善されにくくなります。

粉食

パンやパスタなど粉を使った主食を好んで食べることで、噛む習慣がつきにくくなります。

小食

食べる量が少ないこと。必要な栄養が摂れず、無気力になり、集中力がつきにくくなります。

孤食

1人で食事をする。社会性が育ちにくくなります。